

自己評価報告書

平成 23 年 5 月 1 日現在

機関番号：34316

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20320088

研究課題名(和文) 英語科教員の専門的指導力に関する実証研究 - 日本・韓国・台湾の国際比較からの示唆

研究課題名(英文) An empirical study of English teachers' instructional skills and practices: Implications by comparing Japan, Korea, and Taiwan.

研究代表者

松村 省一 (MATSUMURA SHOICHI)

龍谷大学・国際文化学部・教授

研究者番号：90331131

研究分野：言語教育学

科研費の分科・細目：言語学 外国語教育

キーワード：英語教育、外国語教育政策、外国語としての英語 (EFL)、第2言語習得論

1. 研究計画の概要

本研究の目的は、小学校・中学校・高等学校に勤務する現職英語担当教員の専門的指導力を、「英語力」と「反省的実践力」という視点から分析し、それぞれの教育課程の教員に固有の、また共通して求められる、専門的指導力とは何かを考察することである。日本の公立小学校で外国語活動(英語)や公立中学校や高等学校で英語科を担当している教員を対象に、アンケート調査、インタビューによる聞き取り調査、授業観察を行い、収集したデータをもとに量的かつ質的分析を行う。また、日本と同じく「外国語としての英語」教育環境にあり、小学校英語教育をすでに導入している韓国、台湾において同様の調査を行い、今後の日本の英語教育の方向性について考察する。

2. 研究の進捗状況

本研究の特色は、公立の学校に勤務する現職の教員からデータを収集する点にある。このようなデータ収集は、日本、韓国、台湾のどの国においても難しい。しかしながら、日本では県や市で行われている研究会、韓国や台湾では教員養成系大学で実施されている研修会の機会を活用して、参加教員の協力のもとデータ収集を行っている。具体的には、アンケートによるデータ収集を韓国で3回、台湾で4回、日本で5回これまでに実施している。アンケートは、英語を教えることについて教員が考える理想と、実際に教えてみてわかる現実とのギャップを現場の教員がどのように克服しているのかについて問う内容となっている。このような量的分析に使用するデータに加え、日本では、実際に授業観察を1つの小学校で学期に2回、中学校で学

期に1回実施し、加えて研究会を通して現場の教員にインタビュー調査を行い、質的分析を行うためのデータを収集している。韓国や台湾の小学校でも授業観察を行ってはいるが、日本のように定期的なものではない。インタビューでは、英語のネイティブスピーカーとのチームティーチング、授業で使用する教材、評価の問題等を中心に聞き取りを行っている。また、定期的なデータ収集を行うことにより、これらの問題に対する教員の意識の長期的な変化についても調査している。また、韓国や台湾で実際に使用されている検定教科書を入手し、日本で使用されている教科書との比較分析も行っている。こうした量的、質的データの収集は3国において現在も継続中である。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

(理由)教員養成系大学がもつ現職教員ネットワークを活用できたことで、当初予想されていたデータ収集の難しさを克服でき、仮説検定を含む統計分析を行うのに十分なデータを順調に収集してきているといえる。ただし、中学校や高校の教員から収集したデータ量は、小学校教員からのデータ量に比べ少ない。一方、分析については、データ収集が完了する最終年度に集中して行う必要がある。

4. 今後の研究の推進方策

(1)3国の小学校教員から収集したデータに量的分析を行い、英語を担当する小学校教員に求められる専門的指導力とは何かについて明らかにする。その結果をもとに、日本で外国語活動(英語)を担当する教員を対象に行われている研修の発展に資するべく、研

修内容の充実度について考察する。また、小学校で英語を教えることについて、外国語教育政策という観点からその必要性和有益性について検証する。

(2) 中学校や高校の教員からのデータについては、最終年度に集中的に収集する必要がある。仮説検定を行うに足るデータ量を確保できなかった場合でも質的データをもとに分析ができるよう、定期的な授業観察を継続する。

(3) 研究成果の発表については、これまでと同じく国際学会や国際学術誌を中心に行うが、データ収集協力者への直接的な成果還元方法として、協力者を対象にしたシンポジウムの開催等にも積極的に取り組む予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計5件)

Matsumura, S., & Wakita, H. (2011). What's wrong with elementary school English education in Japan? *The 2011 KAPEE International Conference Proceedings*, 97-106. (査読有り)

Matsumura, S., & Wakita, H. (2010). The role of the employment exams for selecting "quality" EFL teachers. *The 14th Korea TESOL International Conference Proceedings*. 309-318. (査読有り)

Matsumura, S., & Chapple, J. (2010). The impact of learning and teaching styles in EFL: Success or failure in the classroom and beyond. *The 2010 HICE Proceedings*. 3424-3432. (査読有り)

脇田博文 (2010) 「英語教員採用試験の有効性・妥当性に関する実証研究 - 日韓中高英語教員に対する意識調査に基づいて - 」国際文化研究、第14号、65 - 89頁。(査読有り)

脇田博文 (2009) 「中等学校英語教員に求められる資質・能力とは何か - 韓国中等学校任用試験制度の改革に伴う英語教員資格基準と評価内容・評価方法の研究開発 - 」龍谷紀要、第31号、181 - 202頁。(査読有り)

[学会発表](計13件)

Matsumura, S., & Chapple, J. (March 28, 2011). *The synergy of collaborative EFL*

teaching in elementary schools. Paper presented at the 2011 AAAL (American Association for Applied Linguistics) Annual Conference, Sheraton Hotel & Towers, Chicago, IL.

Matsumura, S., & Wakita, H. (January 22, 2011). *What's wrong with elementary school English education in Japan?* Featured talk at the 2011 KAPEE (Korea Association of Primary English Education) International Conference, Korea National University of Education, Chungbuk, Korea.

Chapple, J., & Matsumura, S. (January 5, 2011). *The hidden dangers inherent in the use of native assistant language teachers (ALTs) in the Japanese classroom*. Paper presented at the 2011 Hawaii International Conference on Education, Hilton Hawaiian Village Beach Resort & Spa, Honolulu, HI.

Matsumura, S., & Chapple, J. (December 3, 2010). *Non-specialist English teachers and their impact on elementary student attitudes*. The 4th CLS International Conference (CLaSIC 2010). Orchard Hotel, Singapore.

Chapple, J., & Matsumura, S. (October 17, 2010). *Raising EFL Teachers Awareness of Pragmatic Elements of L2 Teaching: A study of Japanese elementary school teachers*. Paper presented at the 2010 Pan-Asian Consortium of Language Teaching Societies & Korea TESOL (PAC-KOTESOL) International Conference, Sookmyung Women's University, Seoul, Korea.